

### 第3章 訓練適応確認問題（確認問題）

## 第3章 訓練適応確認問題（確認問題）

### 第1節 仕様

#### 1-1 確認問題の目標

- (1) 確認問題により、職業訓練の受講希望者に関して以下のイ～ハの事項について把握・確認し、関連職種への就職意欲及び当該訓練コースにおける必要な学力や受講意欲の度合いを測定・把握できること
  - イ 訓練により習得する技能・技術・知識についての理解・興味・関心の度合い
  - ロ 訓練内容に関連する分野についての理解・興味・関心の度合い
  - ハ 訓練により就職可能な職種についての理解・興味・関心の度合い
  - ニ 訓練受講希望者の訓練内容に関するレディネス及び訓練受講に必要な最低限の学力等の度合い
- (2) 訓練受講希望者に対して、確認問題の結果について、納得できる説明ができること
- (3) 問題漏洩に対応できること

確認問題を多数作成しておき、その都度問題を新規作成、再選択し、問題漏洩への対応を図る。また、漏洩することを前提として定期的に新たな問題を作成・追加する。

#### 1-2 対象者

公共職業安定所（ハローワーク）等で就職相談または職業訓練に関する相談を行い、離職者訓練を受講希望する者であること

#### 1-3 活用方法

訓練意欲、就職意欲及び必要学力を確認するための面接を補完するための筆記問題として活用する。

確認問題は、面接前に実施し、面接担当者がその結果を参照しながら面接することが望ましい。面接の際は、面接担当者による不適切な質問を避け、評価結果のばらつきがないよう聞き取り項目と評価基準と評価の方法を標準化する。ただし、施設における入所選考の実態や訓練受講希望者の応募状況等を鑑みると、必ずしも面接前に確認問題を実施できるとは限らない状況もあり得ることから、確認問題の結果と面接結果の総合評価の仕方において、施設で工夫する場合があること。

#### 1-4 所用時間

活用する場面に応じて問題数を増減し、約 20 分～60 分を想定していること

#### 1-5 実施結果の採点・集計

採点・集計等が簡潔にでき、結果を数値化できること

### 第2節 作成方法

#### 2-1 確認問題の区分と問題数

訓練コースごとに、次の（1）から（3）の受講要件に区分し、当面実施に必要な相当数の設問を作成し、その中から必要とする問題を選択して実施する。

- （1）就職意欲：職業に必要な技能・知識を習得して就職することを望んでいる者
- （2）受講意欲：訓練を受講することに熱意がある者
- （3）必要学力：訓練を受講するのに必要な学力を有すると認められる者

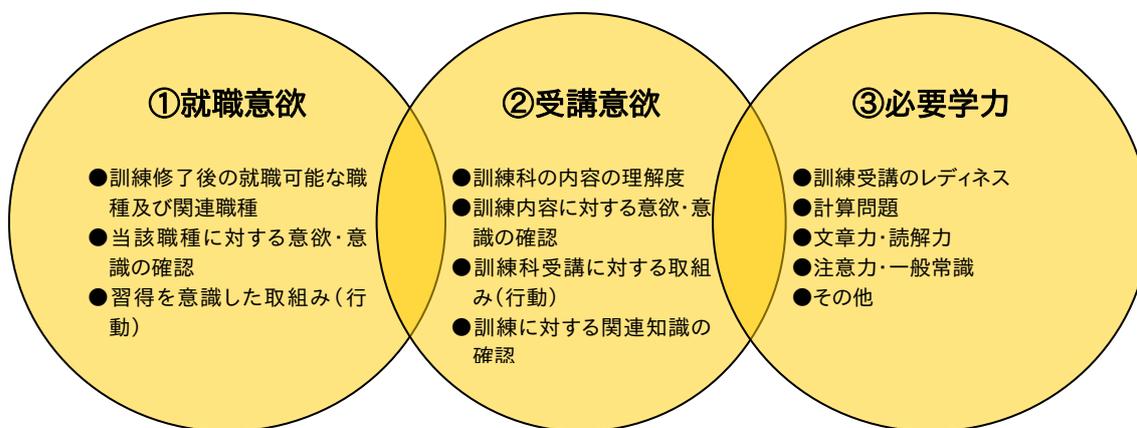


図3-1 離職者訓練の受講要件（再掲）

#### 2-2 確認問題の内容

確認問題は、原則筆記問題（記述問題または選択問題）とし、場合により実技問題（実作業問題または写真等による鑑別問題）を含め、設問の形式は次の（1）から（4）に関する形式の問題を各複数作成する。

##### （1）記述式問題

長文による記述式は可能な限り避け、簡潔なキーワードや短文（文字数がある程度制限するなど）による回答によって確認し、読みやすくきれいな

に書こうしている状況も確認する。

(2) 選択肢群から選択問題

数多い選択肢群から正答（誤答）を選び出す方式とする。

(3) 択一式問題

五者択一式、四者択一式とする。

(4) 基礎的学力の検査との組み合わせ

訓練コースの理解または就職に関する設問と併せて、漢字の読み書き、簡単な計算問題等との組み合わせ、訓練に必要な国語・算数力も確認する。

## 2-3 確認問題の区分の内容

(1) 必要学力：訓練を受講するのに必要な学力を有すると認められる者

① 基礎学力の確認

(例1) 訓練受講に必要な最低限の基礎学力（計算能力、読解力、文章能力）

② 社会人基礎能力の確認

(例1) 社会人として最低限必要とされる能力（列挙させる数を制限）

(例2) 就職が未だ確定しない原因の理解と把握

(例3) 就職に対する意識（安易又は熟慮 等）

③ 訓練コースの受講に必要なレディネス

(例1) ものづくり関係の職種に共通な基礎能力

・数理能力 → 文章問題の計算(算数応用問題)など

・空間判断力 → 展開図の立体形探し検査など

・形態知覚力 → 同じ図形を探す検査など

(例2) その他、訓練コースごとに、当初の訓練目標、訓練効果のために必要なレディネス（例：組込みマイコン技術科 → 一定のパソコン活用スキル）

(2) 受講意欲：訓練を受講することに熱意がある者

次の①及び②に関する問題を上記（1）の方法で設定する。

① 知識の確認

(例1) 訓練コースに関する用語の知識（対語など）

(例2) 訓練コースに関するキーワードに対する言葉の連想

(例3) 道具（工具等）名称からそのイメージ、作業内容の確認

② 訓練内容への意欲・意識の確認

訓練内容の理解度を確認するために、訓練コースごとに習得できる専門的知識及び技能・技術に関する設問

- (例 1) 一番習得したい訓練内容
- (例 2) 習得した専門的知識及び技能・技術の活用の仕方
- (例 3) 習得した訓練内容が実務で活用される場面など
- (例 4) 訓練コースに関係する能力で自らが不足していると感じている能力
- (例 5) 訓練コースに抱く夢、希望、目標
- (例 6) 訓練コースを受講する目的
- (例 7) 訓練修了時に習得しておきたい職業能力  
(特に自らが向上させたい職業能力)
- (例 8) 訓練中に取得できる資格の種類、その概要

③ 取り組み方(行動)の確認

- (例 1) 訓練コースに関係する能力で自らが不足していると感じている能力とともにその実現のためにどのような努力(具体的な取り組み)を行うか。
- (例 2) 目標達成するために既に取り組んできた事項、今後取り組もうと予定している事項
- (例 3) 訓練中の取り組みイメージ(箇条書きで各項目の文字数を制限)
- (例 4) 訓練コースに関して調べた情報源
- (例 5) 日常的に閲覧している Web サイトと興味・関心がある Web サイトとの理由

(3) 就職意欲：職業に必要な技能・知識を習得して就職することを望んでいる者

① 知識の確認

- (例 1) 就職先として興味を抱いた企業名と、その仕事内容・求められる専門的知識及び技能・技術
- (例 2) 仕事内容
- (例 3) 求人票等に記載されている条件面など
- (例 4) 職業のイメージを絵で描き、絵からそのイメージを説明する作業名や職業名などのキーワード及び記述問題

② 当該職種への意欲・意識の確認

- (例 1) 5年後の職業生活のイメージ  
(箇条書きで各項目の文字数を制限)
- (例 2) 一番就職したい職業
- (例 3) 就職に抱く夢、希望、目標
- (例 4) 就職する際に必要な資格試験の種類、その概要

③ 取り組み方（行動）の確認

（例 1）就職先の業界、職業、仕事内容等を調べた情報源

（例 2）日常生活上での仕事に関係する興味、関心、取り組み（パソコンをよく活用している、仕事が好き、ビデオ・テレビなどの家電操作が好き）

（例 3）就職活動として、取り組んできた項目

### 第 3 節 試作問題

#### 3-1 受講に要する学力（必要学力）の確認問題

当該訓練コースを受講するために必要な基礎学力（当該訓練コースに必要な基礎学力）を確認する問題である。

##### （1）四則演算（加減乗除）

①小数、分数の計算力の問題のうち、特に分数の加減剰余の問題（オームの法則の理解、資格取得に係る計算問題を解くに必要な学力程度）

②文章で出題し、文章の読解力と計算力を確認することが可能な問題

（問） $1/2 + 1/3 =$  （解答： $5/6$ ）

（問） $1/2 - 1/3 =$  （解答： $1/6$ ）

（問） $2/3 \times 3/4 =$  （解答： $1/2$ ）

（問） $3/5 \div 3/4 =$  （解答： $4/5$ ）

（問） $25 \times 25 =$  （解答： $625$ ）

（問） $5 \times 5 - 4 \times 4 =$  （解答： $9$ ）（3平方の定理の計算）

（問）さいころ 2 個を振って、出る目の数の和が 6 となる確率はいくらですか。

（解答：さいころ 2 個での目のとおりは全部で 36 とおり、うち出る目の数の和が 6 は 1 と 5、2 と 4、3 と 3、4 と 2、5 と 1 の 5 とおりで  $5/36$ ）

（問）さいころ 2 個を振って、出る目の数の和が 7 となる確率はいくらですか。

（解答：7 の目は、1 と 6、2 と 5、3 と 4、4 と 3、5 と 2、6 と 1 の 6 とおりで  $6/36 = 1/6$ ）

（問）さいころ 2 個を振って、出る目の数の和が 6 となる確率と 7 となる確率はどちらが大きいですか（出やすいですか）。

（解答：7 となる確率大きい）

##### （2）単位（の変更）

①時計に関する問題

日常常識問題で、解答に一工夫し、注意力を判断する。

②時速等に関する問題（補助単位）

（問）ある会社の始業時間は8時45分で、昼の休憩時間が12時15分から45分間ありました。現在14時20分ですが、始業から現在までの勤務時間は何分ですか。（解答：4時間50分＝290分）

→時間を分で解答させることで、問題の内容をよく確認しているか（注意力）、また、時間の換算を理解しているか（日常常識）

（問）時速72kmは、秒速何mですか。（解答：72km/h＝20m/s）

→電気設備（ビル設備）関係では、電力や電力量で補助単位（キロ、ミリ）を使用

（問）1,000ミリリットルは、何リットルですか。（解答：1リットル）

（問）1立方メートルは、何立方センチメートルですか。

（解答：1,000,000立方センチメートル）

（3）割合（%）

①増減に関する問題（社会常識）

（問）ある訓練コース30人のうち6割が女性です。男性の2分の1、女性の3分の2が30歳未満の方です。30歳以上の方は、男性女性合わせて何人ですか。

（解答：6＋6＝12人）

（問）ある家庭での先月（30日間）の電気料金が9,600円でした。今月（31日間）は原油価格の高騰により月料金の合計に5%付加されます。この家庭での1日の電気使用量は、先月の1日の電気使用量と同じとした場合、今月の電気料金はいくらになりますか。

（解答：9,600÷30×31×1.05＝10,416円）

（4）図形

製図やCADを扱う訓練には、必要不可欠な知識である。また、図形の問題の理解のある方は、電気配線の理解度が早い傾向があることが経験的にわかっていること。

①展開図→立体図（立体図→展開図）の問題（空間判断力）

②立体の投影図→立体図（立体図→投影図）の問題（空間判断力）

③折り紙の折り方図→完成ものを選択させる問題（空間判断力）

④同じ図形を探す問題（形態知覚力）

(問) さいころ (6 面体) の展開図において、さいころにならないのはどれですか。(5 者択一、1 つだけ 6 面体にならないものを解答させる)  
また、さいころになる展開図の 1 つ (残り 4 つの展開図の 1 つを選択) にさいころの目を記入し、さいころを完成してください。  
(さいころの目は対面の和が 7 になる)

## (5) 国語

社会常識の範囲及びを確認するための問題である。

- ①読み取り力
- ②書き取り力
- ③聞き取り力
- ④話す力
- ⑤注意力

(問) 当該訓練コースの概要を活用し、文章を完成させる問題で、  
( ) 内に適当なことばを選択肢群から選ぶ、ひらがなを漢字に、漢字にふりがなを記述させる問題。(①②③⑤の判断と合わせ受講意欲の確認ができる。)

(問) 知っていることわざを記述し、その意味を書いてください。(ことわざの変わりに言葉の熟語でも構いませんので、その言葉と意味を書いてください。)

→ (例) (ことわざ)「急がば回れ」 (意味)「急ぐ時には危険な近道を通るよりも、遠くても安全な道を回るほうが、結局は早く目的地に着く。類：急いで事は仕損じる」

→ (例) (ことわざ)「百聞 (ひゃくぶん) は一見にしかず」

(意味)「人の話を何度も聞くよりも、一度実際に自分の目で見たほうがよくわかる。」

(問) 自分のアピールポイント (アピールしたいこと) を簡潔に箇条書きで表現してください。

## (6) その他

(問) パソコンは使えますか。また、インターネットで Web サイト検索はできますか。

### 3-2 受講意欲の確認問題

当該訓練コースを受講すること意欲・熱意があることを確認する問題である。

#### (1) 訓練コースの内容の理解度

①訓練内容（概要、キーワード）

②関連資格

(問) 訓練コース概要について記述したものです。問題文を読んで、( ) に適なことを下記選択肢から選んで、( ) 内に直接記入してください。

○電気設備コース（生産システム技術科）の問題例

家電や食品など、(① ) 製造業で量産される製品は、工場内の生産ラインで工業用ロボットが生産しています。この分野では、(② ) 生産設備の高度化のため、広範な知識を持ち、ハードウェアだけでなくソフトウェア面でも対応できる(③ ) 制御基盤設計者、メンテナンス要員等の技術者が不足しています。

実習をとおして生産ラインに使われているセンサ、(④ ) モータ、コンピュータ等のハードウェアおよびソフトウェア、(⑤ ) 配線工事、配線図面について学び、(① ) 製造現場への就職を目指します。

(選択肢)

- ①（生産、製品、製造、製作、間接）
- ②（電源、生産、工場、会社、消防）
- ③（プリント、シーケンス、モータ、配電、制御、）
- ④（コンベア、空気圧機器、ロボット、モータ、ランプ）
- ⑤（電気、電源、配線、配電、ケーブル）

○ビル設備コース（ビル設備サービス科）の問題例

ビルに設置されている設備を最適な状態に(① ) 維持するために、各種設備の動作原理、(② ) 運転方法や取扱いに関する知識と技能を習得します。具体的には、ビル等の建築物の(③ ) 電気設備のメンテナンス作業とパソコンを用いた報告書作成やデータ解析、ビル等の冷暖房・空調設備、給排水衛生設備や消防防災設備の(④ ) 保全及び(⑤ ) 管理ができる知識と技術が習得できます。

(選択肢)

- ①（管理、維持、制御、保持、保守）
- ②（運転、操作、動作、始動、停止）
- ③（機械、電気、防災、消防、受電）

④ (管理、保守、保全、操作、設置)

⑤ (管理、保守、保全、操作、設置)

## (2) 訓練内容に対する意欲・意識の確認

①志望理由 (受講目的、夢、希望、目標)

②特に習得したい訓練内容 (科目または資格) 及びその活用方法

(問) 当該訓練コースを受講する目的、希望及び目標をお聞かせください。

また、訓練を受講して最も習得したいスキル内容は何ですか。

(問) 当該訓練コースを受講して、最も習得したスキル内容は何ですか。

また、その習得したスキルを活用する方法をお聞かせください。

(問) 当該訓練の受講以外で既にスキルアップに取り組んでいる事 (免許・資格等) があればお聞かせください。

(問) 現在、不足していると感じているスキル (経験・知識・技能) についてお聞かせください。

(問) デジタルカメラで撮影したデータをパソコンで編集して、プリンタで印刷できますか。

(問) 音楽CD等からデジタルプレイヤーに録音できますか。

(問) 携帯電話でメールやWebサイト検索できますか。

(問) ビデオディスクレコーダーまたはDVDレコーダー (ブルーレイレコーダー) の家電操作は、好きでよく操作されますか。

## (3) 訓練コース受講に対する取組み (行動)

①訓練内容 (調べた情報: インターネット、募集リーフレット、パンフレット等)

②具体的な取組み

(問) 当該訓練コースの訓練内容における訓練項目を記述ください。

○電気設備コースの訓練項目群

電気回路基礎、測定器利用方法、有接点シーケンス制御、空気圧制御、アナログ素子 (ダイオード、トランジスタ) の種類と利用方法、プログラマブルコントローラ (工業用コンピュータ) 基礎と応用、自動化用センサ、自動化用モータ・表示器 (タッチパネル) 利用、位置決め制御、工業用コンピュータ間通信 (LAN)、電気図面の見方、電線接続、設計・施工、電線管工事・モータの種類と特性、モータ制御回路、フィードバック制御、制御回路設計、電気CAD基本操作、屋内配線図作成、配電盤の加工、機器取付け、配線・配電盤の検査

○ビル設備コースの訓練項目群

電気回路、電気測定、配電理論と配線図、電線接続、ケーブル配線（施工）、電線管工事、（関連資格：第二種電気工事士）・シーケンス制御（基本回路）、シーケンス制御（モータ運転）、シーケンス制御（PLC：プログラマブルロジックコントローラ）、発電設備と蓄電池設備、受変電設備保全、モータの保守・点検、ビルクリーニング（器工具、洗剤）、ビルクリーニング（床洗浄）・冷凍法、空冷式エアコンと冷媒配管、空気環境測定、空調設備、湿り空気線図と空調負荷、空調設備の故障診断、（関連資格：第三種冷凍機械責任者）、上下水道と公衆衛生、給水方式、給排水衛生設備、配管接続実習、水質検査、ボイラーの型式分類・構造、ボイラーの取扱い、ボイラー法令、避難誘導設備、消火設備、危険物の性質と法令、（関連資格：二級ボイラー技士、消防設備士、危険物取扱者）  
（問）訓練中に習得可能な資格の種類と概要をお聞かせください。

○ビル設備コース

電気工事士（第一種、第二種）、ボイラー技士（2級）、消防設備士（甲種（1類から5類）、乙種（1類から7類））、危険物取扱者免状（乙4類）、冷凍機械責任者（第三種）

（問）安全衛生における4S（5S）とは何ですか。

（問）仕事場でKY活動のKとYは何の略称ですか漢字で教えてください。

（4）訓練に対する関連知識を確認（工具に係る一般知識）

（問）次の工具を絵（写真・図）で表し、その工具を使用して連想できる作業（用途）を答えなさい。

①ドライバ（写真・図）



（作業（用途））

- ・（電気）器具の取り付け
- ・器具端子のネジの締め付け又は取り外し

②ペンチ（写真・図）



（作業（用途））

- ・電線の曲げ、切断及び接続

(問) 次の写真 (図) の名称と用途を回答ください。

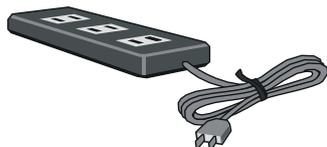
① (電工ドラムの写真)



(用途)

- ・ 遠方より電源を取るとき
- ・ 電動工具を数個使うとき

② (テーブルタップの写真)



(用途)

- ・ 電源の延長

③ (スパナの写真)



(用途)

- ・ ボルト、ナットの締め付け

④ (ペンチの写真)



(用途)

- ・ 電線の切断

⑤ (ドライバの写真)



(用途)

- ・ ねじの締め付け又は取り外し

(参考) システム・ユニット訓練用テキスト

「器工具使用法と電線接続法 (EU107-0010-1)」

### 3-3 就職意欲の確認問題

当該訓練コースを受講し、職業に必要な技能・知識を習得して就職することを強く望んでいる (就職意欲) を確認する問題である。

#### (1) 訓練コース修了後の就職可能な職種及び関連職種

① 職種内容 (概要、キーワード)

## ②関連資格

(問) 当該訓練コースの訓練修了(目標としている技能・知識を習得)後に就職可能な職種または職業を知っているだけあげてください。さらに、訓練期間中に取得が可能な免許・資格も知っているだけあげてください。

(回答)

### ○電気設備コース(生産システム技術科)

- ・職種(制御盤設計技術者、配電盤・制御盤組立工・修理工、電気工事作業員、電子機器組立技術者、回路試験・評価技術者、回路設計、回路設計補助、制御システム設計)
- ・免許、資格(第二種電気工事士、電気系保全作業技能検定)

### ○ビル設備コース(ビル設備サービス科)

- ・職種(オフィスビル・デパート等の商業施設、学校・病院・ホテルでの設備管理、マンション管理業、消防設備点検業、電気設備維持管理業)
- ・免許、資格(第二種電気工事士、第三種冷凍機械責任者、二級ボイラー技士、消防設備士(甲4類、乙4類、乙6類、乙7類)、乙4類危険物取扱者)

## (2) 当該職種に対する意欲・意識の確認

①最も就職したい職業(職種)

②①に抱く夢、希望、目標

③就職する際の必要な資格の種類及びその概要

(問) あなたが最も就職したい職業は、どんな職業ですか。また、あなたがその職業に就くためには、どのように取り組みますか。

(問) 5年後、あなたはどのような職業生活を送りたいと考えていますか。箇条書きでお聞かせください。

(問) あなたが最も就職したい職業(業種)と受講を希望している訓練コースとの関係を自分の考えや思いを説明してください。

## (3) 就職を意識した取組み(行動)

①就職可能な業界、職業、仕事内容(調べた情報及びその情報源)

②日常生活での仕事に関係する興味、関心、取組み(パソコンの活用状況(デジタルカメラ、デジタルプレーヤー等)、工作趣味、ビデオ・テレビ等の家電操作が好き)

③就職活動に係る取り組んだ項目

(問) 訓練修了後の就職可能な職種について、次の設問に回答または適当なものを○囲み(複数回答可)で回答ください。

①就職したい職種

( )

②希望就業形態

(正社員(不特定派遣含)、派遣、期間、パート、アルバイト、他 )

③その職種の賃金相場 月当たり ( ) 円位

④その職種に必要なとされる免許・資格は、

( )

## 第4節 「訓練適応確認問題とその作成手法」仕様書

### 4-1 「訓練適応確認問題とその作成手法」

前述の第1節～第3節の内容を基に、「訓練適応確認問題の仕様」(「訓練適応確認問題とその作成手法」)を策定した。(資料1参照)

資料1 平成21年2月9日策定 「訓練適応確認問題」の仕様 (「訓練適応確認問題とその作成手法」)	資料1
<p>(1) 雇職者訓練の受講要件 雇職者訓練を受講する者の要件は、通達等により、 ① 職業に必要な技能・知識を習得して就業することを望んでいる者 (以下、「就業意欲」という。) ② 訓練を受講することに熟意があること(以下、「受講意欲」という。) ③ 訓練を受講するのに必要な学力を有すると認められる者 (以下、「必要学力」という。)</p> <p>(2) 問題の所在：訓練コースの受講要件に合わない受講者の存在 「訓練コースの受講が必要であると認められない者が受講している」という指摘： ① すでに訓練コースの仕上がり後以上の技能等を有する者が受講 ② 訓練修了後に直ちに就業する必要がない者、就職する予定がない者が受講 ③ 就業を希望する職種と関連のない技能、知識を習得する訓練コースを受講 ④ 雇用保険の給付延長を目的として訓練コースを受講</p> <p>(3) 「就業意欲」「訓練意欲」は、訓練効果(訓練によって受講者のスキルが向上し、それにより関連職種に就職すること)にも関係 当該職種への就業や訓練への意欲の高い人は、選考前から受講希望する訓練コースの内容や受講後の関連就業の分野等を調べている傾向があり、習得意欲も高いので訓練効果も高い。 (訓練科によっては、最低限のレディネス及び専門的知識、学力が訓練効果を左右する場合あり)</p> <p>(4) 適性検査(GATSが一般的)は、「(就業・訓練)意欲」の確認には不向き この適性検査(GATS)の元々の使用方法は、あるレベル以上だとその職業に関する適性が認められるというもので、 学科試験と同様に順位付けするためのものではない。よって、適性検査による順位付けは本来の使用手法ではなく、必ずしも適当ではない。</p> <p>(5) 留意事項 訓練適応確認問題を実施する際には、雇職者訓練の目的と受講要件について受講希望者に説明し、その要件の確認のために実施することを義務付けることが必要である。</p> <p>1 「訓練適応確認問題(仮称)(以下「確認問題」という。)の目標 (1) 確認問題により、職業訓練の受講希望者に関して以下のイ～ハの事項について把握・確認し、関連職種への就業意欲及び訓練受講意欲の度合いを測定・把握できること。</p>	<p>イ 訓練により習得する技能・技術・知識についての理解・興味・関心の度合い ロ 訓練内容に関連する分野についての理解・興味・関心の度合い ハ 訓練により就業可能な職種についての理解・興味・関心の度合い ニ 訓練受講希望者の訓練内容に関するレディネス及び訓練受講に必要な最低限の学力等の度合い(入所後の訓練受講時の指導にも活用)</p> <p>(2) 訓練受講希望者に対して、確認問題の結果について、納得できる説明ができること。 (3) 問題難化に対応できること。 (補題問題を多数作成しておき、その程度問題を選定し、問題難化への対応を図る。また、難化することを前提として定期的に新たな問題を作成・追加する。)</p> <p>2 実施対象者 ハローワーク等で就業相談または職業訓練に関する相談を行い、雇職者訓練を受講希望する者(年齢・性別の制限なし)</p> <p>3 使用方法 就業意欲・訓練意欲を確認するための目安を補充するための筆記問題として使用する。確認問題は、可能な限り、面接前に実施して面接担当者がその結果を参照しながら面接する。面接の際は、面接担当者による不適切な質問を避け、評価結果のばらつきがないよう聞き取り項目と評価基準と評価のしかたを標準化する。</p> <p>4 確認問題の所用時間 活用する場面に応じて問題数を増減し、約20分～60分を想定</p> <p>5 実施結果の採点・集計等 採点・集計等が簡便にでき、結果を数値化できること。</p> <p>6 確認問題の区分 訓練科ごと、次の区分ごとに、作成する。 (1) 訓練科に関する確認問題(訓練内容等) (2) 訓練科の修了により就業可能な職種及び関連職種に関する確認問題 (3) 訓練受講に関するレディネス及び最低限の学力等</p> <p>7 確認問題の作成方法 (1) 設問の形式 次の①～④のような形式の問題を各複数作成 ① 記述式 長文による記述式はできるだけ避け、候補キーワードや短文(文字数のある幅度制限するなど)による回答によって確認 ② 選択肢群から選択</p>

<p style="text-align: center;">資料 1</p> <p>数多い選択肢群から正答を選び出す方式</p> <p>② 択一式問題 玉手択一、四者択一など</p> <p>④ 基礎的学力の検査との組み合わせ 訓練科の理解または就職に関する設問と併せて、漢字の読み書き、簡単な計算問題等との組み合わせ</p> <p>(2) 訓練科に関する確認問題 (訓練内容等) 次の①及び②に関する問題を上記 (1) の方法で設定する。</p> <p>① 知識の確認 (例 1) 訓練科に関する用語の知識 (対称など) (例 2) 訓練科に関するキーワードに対する言葉の連想 (例 3) 道具 (工具等) 名称からそのイメージ、作業内容の確認</p> <p>② 訓練内容への意欲・意図の確認 訓練内容の理解度を確認するために、訓練科ごとに習得できる専門的知識及び技能・技術に関する設問 (例 1) 一番習得したい訓練内容 (例 2) 習得した専門的知識及び技能・技術の活用仕方 (例 3) 習得した訓練内容が実務で活用される場面など (例 4) 訓練科に関する能力で自らが不足していると感じている能力 (例 5) 訓練科に抱く夢、希望、目標 (例 6) 訓練科を受講する目的 (例 7) 訓練終了時に習得しておきたい職業能力 (特に自らが向上させたい職業能力) (例 8) 訓練中に取得できる資格の種類、その概要</p> <p>③ 取り組み方 (行動) の確認 (例 1) 訓練科に関する能力で自らが不足していると感じている能力とともにその実現のためにどのような努力 (具体的な取り組み) を行うか。 (例 2) 目標達成のために既に取組んできた事項、今後取組もうと予定している事項 (例 3) 訓練中の取り組みイメージ (箇条書きで各項目の文字数を制限) (例 4) 訓練科に関して調べた情報源 (例 5) 日常的に関連している Web サイトと興味・関心がある Web サイトとの理由</p> <p>(3) 訓練科の修了で就職可能な職種及び関連職種に関する確認問題</p> <p>① 知識の確認 (例 1) 就職先として興味を覚いた企業名と、その仕事内容・求められる専門的知識及び技能・技術 (例 2) 仕事内容 (例 3) 求人票等に記載されている条件面など</p>	<p style="text-align: center;">資料 1</p> <p>(例 4) 職業のイメージを絵で描き、絵からそのイメージを説明する作業名や職業名などのキーワード及び記述問題</p> <p>② 当該職種への意欲・意図の確認 (例 1) 5年後の職業生活のイメージ (箇条書きで各項目の文字数を制限) (例 2) 一番就職したい職業 (例 3) 就職に抱く夢、希望、目標 (例 4) 就職する際に必要な資格試験の種類、その概要</p> <p>③ 取り組み方 (行動) の確認 (例 1) 就職先の業界、職業、仕事内容等を調べた情報源 (例 2) 日常生活上での仕事に関する興味、関心、取り組み (パソコンをよく活用している、工作が好き、ビデオ・テレビなどの家電操作が好き) (例 3) 就職活動として、取り組んできた項目</p> <p>(4) 訓練受講に要するレディネス及び最低限の学力等</p> <p>① 基礎学力の確認 (例 1) 訓練受講に必要な最低限の基礎学力 (計算能力、読解力、文章能力) ② 社会人基礎能力の確認 (例 1) 社会人として最低限必要とされる能力 (列挙させる数を制限) (例 2) 就職が未だ確定しない原因の理解と把握 (例 3) 就職に対する意欲 (道具又は熟達 等) ③ 訓練科の受講に必要なレディネス (例 1) ものづくり関係の職種に共通な基礎能力 ・ 数値能力 → 文章問題の計算 (算数応用問題) など ・ 空間判断力 → 展開図の立体形探し検査など ・ 形態知覚力 → 同じ図形を探す検査など (例 2) その他、訓練科ごとに、当初の訓練目標、訓練効果のために必要なレディネス (例: 組込みマイコン科 → 一定のパソコン活用スキル)</p> <p>8 確認問題の効果</p> <p>(1) 定性的効果</p> <p>① 受講を希望する職業訓練コースの理解と、希望する就職先の職業理解とその職業生活に対する意思等を確認することにより、訓練コースとのミスマッチの減少 ② 受講者の訓練受講意欲の向上 ③ 受講者の就業意欲の向上 ④ 訓練受講意欲・就業意欲の低い受講者が減少することにより、受講中の訓練環境 (雰囲気) の改善 ⑤ 入所進考を促す事情等の減少</p> <p>(2) 定量的効果</p> <p>① 就職率・関連就職率の向上</p>
--	---

<p style="text-align: center;">資料 1</p> <p>② 満足度の向上 ③ 習得度の向上</p> <p>9 確認問題の改善 確認結果と受講者の受講態度、習得度、就職状況等についての相関性を分析・検証して、確認精度の向上を図る。</p>
---

## 4-2 確認問題（案）の提案

4-1の資料1「訓練適応確認問題とその作成手法」に基づき具体的な案を作成した。（資料2参照）

<p style="text-align: right;">資料2</p> <p style="text-align: center;"><b>訓練適応確認問題（案）</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">訓練コース名</td> <td style="width: 30%;">受付番号</td> <td style="width: 40%;">氏名</td> </tr> </table> <p><b>【問題1】</b> 以下の問題を計算し、その答えを下の解答欄に記入してください。（1点×5）          (1) <math>1/2 + 1/3</math>                      (2) <math>1/3 - 1/4</math>          (3) <math>2/3 \times 3/4</math>                      (4) <math>3/5 \div 3/4</math>          (5) <math>5 \times 5 - 4 \times 4</math>          (解答欄)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(1)</td> <td style="width: 20%;">(2)</td> <td style="width: 20%;">(3)</td> <td style="width: 20%;">(4)</td> <td style="width: 20%;">(5)</td> </tr> </table> <p><b>【問題2】</b> ある会社の始業時刻は8時45分で、昼の休憩時間が12時15分から4時45分あります。現在の時刻は午後2時20分ですが、始業時刻から現在の時刻までに勤務した時間は何分間ですか。その答えを下の解答欄に記入してください。（5点）</p> <p style="text-align: right;">(解答欄)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%;">分</td> </tr> </table> <p><b>【問題3】</b> ある家庭での先月（30日間）の電気料金は2,000円でした。今月（31日間）は原価単価の高騰により月額電気料金が5%増加されます。この家庭での今月の1日あたりの平均電気使用量は、先月の1日あたりの平均電気使用量と同じとした場合、今月の電気料金はいくらになりますか。その答えを解答欄に記入してください。（5点）</p> <p style="text-align: right;">(解答欄)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%;">円</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">1</p>	訓練コース名	受付番号	氏名	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	分	円	<p style="text-align: right;">資料2</p> <p><b>【問題4】</b> 次の図形（AからE）のうち、さいころ（正六面体）の展開図でないもの（さいころにならないもの）はどれですか。その番号を下の解答欄に記入してください。（5点）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  A         </div> <div style="text-align: center;">  B         </div> <div style="text-align: center;">  C         </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  D         </div> <div style="text-align: center;">  E         </div> <div style="text-align: center;"> <p>(解答欄)</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 30px;"> </table> </div> </div> <p><b>【問題5】</b> 次の免許・資格名称群（A～E）のうち、どれか1つの免許または資格の概要（内容）を教えてください。その答えを下の解答欄に資格の名称とその概要を記入してください。（5点）  <b>（免許・資格名称群）</b>          A. 電気工事士    B. 消防設備士    C. ボイラー技士    D. 危険物取扱者          E. 冷凍機械責任者</p> <p style="text-align: right;">(解答欄)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">(免許・資格名称)</td> <td style="width: 40%;">(概要)</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">2</p>	(免許・資格名称)	(概要)
訓練コース名	受付番号	氏名											
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)									
分													
円													
(免許・資格名称)	(概要)												
<p style="text-align: right;">資料2</p> <p><b>【問題6】</b> 次の写真の工具名称と用途を教えてください。その答えを下の解答欄に記入してください。（5点）</p> <p style="text-align: center;">(ドライバの写真)</p> <p style="text-align: right;">(解答欄)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(工具名称)</td> <td style="width: 50%;">(用途)</td> </tr> </table> <p><b>【問題7】</b>（ビル設備サービス科） 次の文章は、訓練コースの概要を記述したものです。（ ）内の①から⑤のうち、空白には適当なことを下記選択肢から選び、ひらがなは漢字に、漢字はひらがなにして文章を完成させてください。その答えは下の解答欄に記入してください。（1点×5）</p> <p>「ビルに設置されている設備を最適な状態に①（ ）<u>維持</u>するために、各種設備の動作原理、②（うんてん）<u>選定</u>方法や取扱いに関する知識と技術を習得します。具体的には、ビル等の建築物の③（でんき）<u>電気</u>設備のメンテナンス作業とパソコンを用いた報告書作成やデータ解析、ビル等の冷暖房・空調設備、④（おんすいすい）衛生設備や消防防災設備の⑤（かいぜん）及び②（ ）<u>選定</u>ができる知識と技術が習得できます。」          （実施時は見え消し部分に削除）          （選択肢）          制御、保持、操作、動作、始動、停止、機械、電機、電気、電源、受電、防災、消防、管理、維持、保守、保全、設置</p> <p style="text-align: right;">(解答欄)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">①</td> <td style="width: 20%;">②</td> <td style="width: 20%;">③</td> <td style="width: 20%;">④</td> <td style="width: 20%;">⑤</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">3</p>	(工具名称)	(用途)	①	②	③	④	⑤	<p style="text-align: right;">資料2</p> <p><b>【問題8】</b>（ビル設備サービス科） 訓練コース（科）の訓練終了（目標としている知識・技能・技術を習得）後に就職可能な職種または職業を知っているだけ教えてください。その答えは下の解答欄に記入してください。（5点）</p> <p style="text-align: right;">(解答欄)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%; height: 30px;"> </td> </tr> </table> <p><b>【問題9】</b> あなたが最も就職したい職業は、どんな職業ですか。また、あなたがその職業に就くためには、どのような取り組みを考えていますか。その職業と取り組みを下の解答欄に記入してください。（5点）</p> <p style="text-align: right;">(解答欄)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%;">(職業)</td> </tr> <tr> <td style="width: 100%;">(取り組み)</td> </tr> </table> <p><b>【問題10】</b> あなたは5年後、どのような職業生活を送りたいと考えていますか。その考えを下の解答欄に簡潔書きで記入してください。（5点）</p> <p style="text-align: right;">(解答欄)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%; height: 30px;"> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">4</p>		(職業)	(取り組み)		
(工具名称)	(用途)												
①	②	③	④	⑤									
(職業)													
(取り組み)													